



Wilhelm · Conrad · Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見

放射線だより

2026年9月
No.20 (隔月発行)
担当：鈴木優太

from Radiation House

「医療被ばく低減施設認定」を取得しました！

このたび2026年8月1日付で、当院は医療被ばく低減施設として承認されました。

◎安心して検査を受けていただくために

医療における放射線検査は、病気の早期発見や正確な診断、治療方針の決定に欠かせないものです。一方で、放射線を使用する検査では、必要以上の被ばくを避けることも重要です。

当院では、患者さん一人ひとりに対して、**診断に必要な画質を確保しながら、できる限り放射線の影響を低減する**ことを目指し、日々の検査に取り組んでいます。

今回の認定取得は、これまで取り組んできた放射線被ばくの低減や検査の品質管理、安全管理などが評価されたものです。

◎認定取得をゴールとせず、これからも

認定取得後も、撮影条件や検査方法の見直し、装置の管理、画像の評価などを継続して行い、より安全で質の高い検査を提供できるよう努めてまいります。

◎必要な検査を、必要な範囲で、より安全に

患者さんに安心して検査を受けていただける放射線検査を目指して、放射線科スタッフ一同、今後とも意欲的に取り組んでまいります。



訪問審査時の様子（写真）

放射線だより

from Radiation House

医療被ばく低減施設認定とは？

「医療被ばく低減施設認定」は、医療機関における放射線検査について、患者さんの医療被ばくを適切に管理・低減するための取り組みが行われている施設に対して、書類審査及び訪問審査を経て公益社団法人 日本診療放射線技師会が認定するものです。

認定を受けるためには、放射線検査の線量管理だけでなく、検査機器の管理や職員の教育、放射線に関する説明・相談への対応など、さまざまな取り組みが求められます。

当院では、これらの取り組みを継続的に行い、今回、認定を取得することができました。

「被ばくを減らす」と「きれいな画像」は両立できるの？

放射線検査では、放射線量を減らしすぎると画像が不鮮明になり、病気を見つけにくくなる場合があります。

そこで重要なのが、

「必要な画像を得るために、適切な線量で検査を行う」という考え方です。

当院では、検査の目的や患者さんの体格などを考慮し、適切な撮影条件を設定するとともに、装置の状態や画像の品質を定期的に確認しています。

放射線・被ばくに関するご相談に対応しています

(当院の放射線科は、放射線被ばく相談員認定資格者が在籍しています)

放射線検査を受ける際に、疑問や不安を感じることもあるかもしれません。

「放射線を使う検査だけど大丈夫？」

「何度も検査を受けているけれど問題ない？」

「検査による被ばくについて知りたい」

このような疑問がありましたら、放射線に関する専門的な知識を持つ放射線技師が、分かりやすくご説明いたします。

当院はこれからも

患者さんに安心して検査を受けていただけるよう、放射線検査の安全性と質の向上に努めてまいります。

(文責：倉内克憲)